

## 【水稻生育情報】

## 花巻地域の7月28日現在までの水稻生育状況について

花巻農業協同組合営農部米穀販売課

○花巻地域の各支店に設置している生育調査圃（「ひとめぼれ」10か所、「銀河のしずく」3か所、「どんぴしゃり」1か所の「幼穂形成期」（幼穂長2mm到達日、平年並の天候では、20～23日後に出穂期になる）、「減数分裂期」（葉耳間長±0cm到達日、平年並の天候では、8～10日後に出穂期になる）を調査した結果が、以下のとおりです。

品種名	支店名	幼穂形成期	減数分裂期	推定出穂期	平年差
ひとめぼれ	花巻	7月11日	7月26日	8月3日	-4日
〃	矢沢	7月11日	7月23日	7月31日	-4日
〃	宮野目	7月11日	7月24日	8月1日	-4日
〃	湯本	7月12日	7月25日	8月2日	-5日
〃	湯口	7月10日	7月22日	7月30日	-6日
〃	太田	7月9日	7月24日	8月1日	-6日
〃	笹間	7月14日	7月25日	8月2日	-4日
〃	石鳥谷	7月14日	7月27日	8月4日	-5日
〃	大迫	7月14日	7月24日	8月1日	—
〃	東和	7月15日	7月24日	8月1日	-3日
<b>平均</b>		<b>7月12日</b>	<b>7月24日</b>	<b>8月1日</b>	<b>-5日</b>
銀河のしずく	花巻	7月8日	—	7月28日	-7日
〃	湯本	7月9日	—	7月29日	-7日
〃	湯口	7月9日	—	7月29日	-5日
どんぴしゃり	笹間	7月9日	7月22日	7月30日	—

※幼穂形成期、減数分裂期は幼穂、葉耳間長を実測、出穂期は減数分裂期+8日（高温時）

○以上の結果から、以下の様に推定しました。

1. 推定出穂期は、今後も高温傾向が続くと想定し、減数分裂期+8日とした結果、**平年より5日程度（最大で7日程度）早まりそう**です。
2. 花巻地域では、本日（7月28日）カメムシ掬取調査といもち病発生状況調査を行い、その結果から、カメムシ防除時期及び追加防除の要否を判断する予定でしたが、台風8号の襲来により調査を中止せざるを得ませんでした（次回の調査は、8月3日を予定しております）。
3. 令和3年度病害虫発生予察情報注意報第5号（令和3年7月27日岩手県病害虫防除所発表）では、『「7月中旬の水田畦畔におけるカメムシ掬い取り調査では、発生ほ場率は70.3%（平年41.9%）で、過去10年間で最も高い発生率であり、加えて、出穂期は県全体で平年より4日程度早まる（「ひとめぼれ」は8日程度早まる予想もあり）」とのことです。花巻地域も同様な傾向であり、**出穂期の早まりに対応した「カメムシ防除」が必要**となります。
4. 以上のことから、カメムシの防除は、推定出穂期+2~3日=穂揃期、穂揃期+7日が防除適期ですから、前ページの表から、**出穂期が8月1日の場合は、8月1日+2~3日+7日=8月10~11日が防除適期**となります。**地域の出穂状況を勘案して防除適期を設定**する様、生産組織、防除組織等への指導の徹底をお願いします。
5. 台風が通過し、水田には水が入っているようですが、今後も高温傾向が続く予報もあり、**適切な水管理（出穂後、最低20日間は間断かんがいを続けること、常時湛水状態は、水が高温となり、シラタ発生の原因**となりますので避けること、**極端な乾燥状態は登熟障害**が出ます）の指導をお願いします。
6. 管内でも、いもち病発生情報が聞こえます。いもち病に発生にも細心の注意をお願いします。

以上、現在までの状況と当面の注意点をお知らせしました。参考としてください。8月3日のカメムシ掬い取り調査結果については別途お知らせします。不明な点は、畠山に連絡ください。